

感染状況・医療提供体制の分析(8月16日公表)

【岡山県専門家有志】 詳細
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 公表の前週(月～日)の合計	前回の数値 (8月9日公表) 7月29日～8月4日	現在の数値 (8月9日公表) 8月3日～8月11日	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり 患者報告数 <small>(注:報告者数は、県内84定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)</small>	報告数	1,103人	909人	↓	レベル3. 感染縮小の兆候があるが警戒が必要 定点当たり患者報告数は 10.82人 と微減。RSウイルス感染症や手足口病、A群β溶血性レンサ球菌咽頭炎も依然多い。 全国的にも岡山でも、人流の増加、新しい変異株の出現、免疫の低下、感染対策意識が弱まったことなどが寄与しているのか新型コロナウイルスは依然流行している。お盆による人流増加で今後も流行継続が見込まれる。状況に応じたマスクの適正使用、適切な換気が必要となる。特にハイリスクな方へはうつさないよう工夫が必要。 患者数は減少も、入院患者は増加している。病床は埋まり、重症者も発生しており、注意が必要。 ハイリスク患者は早期診断・早期治療が必要。
		定点当たり数	13.13人	10.82人	↓	
		報告数に占める60歳以上の割合	35.4%	40.7%	↑	
	② 保健所別 定点当たり 患者報告数 <small>(注:定点医療機関は、地域により患者数や患者の年齢構成にばらつきがあり、地域別の単純比較は多少の問題があるが、同じ地域で時系列の変動を見て、流行の推移を見るには有用)</small>	岡山市保健所	6.55人	4.68人	↓	
		倉敷市保健所	20.69人	15.19人	↓	
		備前保健所	8.53人	6.87人	↓	
		備中保健所	19.50人	15.00人	↓	
		備北保健所	21.83人	19.83人	→	
		真庭保健所	10.00人	12.00人	↑	
		美作保健所	10.50人	12.50人	↑	
入院状況	③ 入院患者数 <small>(入院基幹定点サーベイランスより)</small>	50人	61人	↑		
	④ 人工呼吸器利用 <small>(入院基幹定点サーベイランスより)</small>	3人	1人	↓		

*入院状況については、基幹定点医療機関(5箇所)での入院基幹定点サーベイランスより取得。感染状況コメントの中に、医療提供体制に関するコメントも付記します。